

令和3年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 光貞 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

教科に関する調査(国語, 算数)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

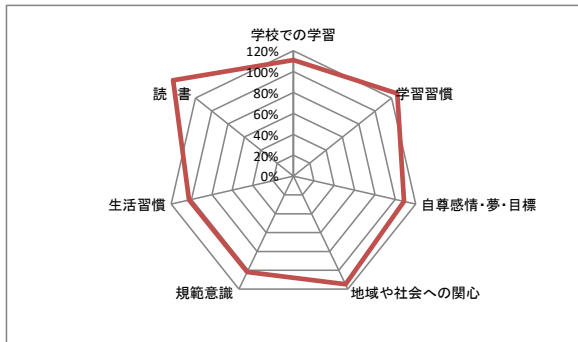
(1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	11.0	69
全国	9.1	65	11.2	70

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	すべての問題で、全国平均正答率を上回っており、無回答率も低い。特に、記述式問題は、全国平均を大きく上回っている。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	自分の主張が明確に伝わるように、構成や展開を考えたり、書き表し方を工夫したりする問題の正答率が高い。	
	努力が必要な問題	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する問題では「問われていること」に対応したり、条件に合わせた叙述に課題がある。	
算数	全体的な傾向や特徴など	すべての問題で、全国平均正答率を上回っており、無回答率も低い。特に、記述式問題は、全国平均を大きく上回っている。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	必要な情報や特徴などを使って、求め方や答えを適切に記述する問題の正答率が高い。	
	努力が必要な問題	商が1より小さくなる等分除の場面で、除法の式に表し、求めることに課題が見られる。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<p>○「英語の勉強が好き」「話し合う活動に取り組んでいる」「進んで読書をしている」の割合が、全国平均よりかなり高い。</p> <p>○「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた。」項目について、「当てはまる」とした割合が全国平均よりかなり高い。</p> <p>○「失敗を恐れず挑戦する」項目について、「当てはまらない」「どちらかと言えば当てはまらない」と答えた割合が全国平均より高い。</p>

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

<p>○授業の中で、自己有用感を高めることができるように、「長いスパンで伸びたか。成長したか。」を軸に、一人一人の伸びや成長をしっかり見取り、認めたり、褒めたりするように努める。</p> <p>○「うまくいった」「みんなのためになった」「頼りにされた」という経験を学校生活の様々な場面で経験させる。そのためには、各教科等の授業や特別活動等の中で、教師の事前の指導や支援をしっかり行い、そのプロセスを大切に自尊感情を高めていく。</p> <p>○「問い」を核に、自分の考えを深めたり、グループで話し合ったりするなど、主体的な学びが発揮できる授業展開をより一層努める。</p>
--

② 家庭生活習慣等に関する取組

<p>○今後も、家庭学習の充実や生活習慣のあり方などについて、保護者の協力を呼び掛けるなど、啓発に努める。</p> <p>○情報リテラシーの学習(インターネットを使ったGIGA端末や携帯電話等の正しい使い方や人権を守る学習)についても継続して指導をしていくとともに、保護者へも通信やホームページ等で啓発を行っていく。</p>
--